

人工知能×アダプティブ・ラーニング！クラウド型学習システム「すらら」 松戸市の子どもの学習支援事業で「すらら」が採用

夏季休暇中も生徒一人ひとりにあった学習支援を提供

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）は、株式会社エデュケーショナルネットワーク（本社：東京都千代田区）と連携し、松戸市の「子どもの学習支援事業」において、生活困窮世帯等の子どもを対象とした、放課後の学習支援を2016年5月より実施しています。

本年度は、小中学生を対象とした放課後の学習支援事業の中でクラウド型学習システム「すらら」を使った少人数制授業を行っており、学校が夏季休暇中も継続して実施します。

「子どもの学習支援事業」の放課後学習支援において「すらら」が採用されたのは、アダプティブ・ラーニング（2頁目参照）を可能にするためです。

本事業を松戸市から受託したエデュケーショナルネットワーク社は、これまで自治体と連携して教育事業を推進してきましたが、生徒に個別指導を実施することが予算や人材確保の面で難しく、生徒一人ひとりへの個別対応をいかに実現していくかが課題でした。

そこで、今年6月より「すらら」のアダプティブな学習機能を活用し、講師1名に対し5～7名程度の少人数指導にすることで、学習状況及び習熟状況に合わせた柔軟な講座を展開しています。

実際に放課後の学習支援事業において「すらら」で学習している生徒は「集中しやすい」「楽しく勉強できる」という反応を示しています。

この夏期休暇中は、学校がある期間は学習時間がなかなか確保できない生徒も、一人ひとりの苦手な分野を過去の苦手や遅れを取り戻すため、アダプティブに学習を進めていきます。

すららネットでは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」をスローガンに、低学力層でも基礎学力向上を実現できる対話型のオンライン学習システム「すらら」を提供しており、約600の塾と102の学校を通じて、34,000人以上の生徒が利用しています。生徒の学力や個性に合わせられるアダプティブ機能を低コストで提供できるという特性を活かし、発達障がい児や学習障がい児、不登校児、経済的困窮世帯など、従来の民間教育や公教育ではカバーしきれない子ども達に対しても活用されています。

すららネットでは、今後も皆様の学習に役立つ教材やビジネスモデルの開発に力を注いでいきたい、と考えております。

【「子どもの学習支援事業」について】

「子どもの学習支援事業」は生活に困窮する世帯、生活保護受給世帯及びひとり親世帯の小学5・6年生及び 中学1～3年生を対象とし、子どもが、家庭や学校以外において、他者との関わりを持つ中で日常生活習慣や社会性を育み、また、学習に対する意欲向上・習慣化を促して自ら学ぶ力を養うことにより、子どもの将来における安定就労に繋げ、貧困の連鎖を防止することを目的として実施されています。

そのため、学校の勉強の復習、宿題の習慣づけ、学び直し、高校受験等のための進学支援を行うとともに、子どもが安心して通える場所を提供し、日常生活習慣や社会性を育むための支援や、必要に応じて心理カウンセラーによる相談を行っております。

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校 3 年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学（算数）・国語

【利用者数】 約 34,000 名（2016 年 6 月末現在）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1 つの単元は 10 から 15 分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月 1 回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週 1 回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでの e ラーニング教材の大半は以下の 3 パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないうえやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないうえ、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



■「すらら」の“アダプティブ・ラーニング”機能

生徒の解答結果から独自のアルゴリズムにより苦手部分を分析・特定し、生徒それぞれに最適化した学習すべき解説や問題を自動で提示する機能。学習者が苦手分野を自分で克服できるようにする。

■「すらら」における“人工知能”

AI が生徒の学習データに基づき先生の替わりに生徒と対話を行う機能「AI サポーター」を搭載し、生徒のモチベーションに与える効果について慶応義塾大学 中室牧子研究室と共同研究を実施中。

■ 株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008 年 8 月 ○ 資本金：13,795 万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>
- 受賞歴：
 - ・ 第 9 回日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞(2012 年)
 - ・ Japan Venture Awards 2014 中小機構理事長賞(2014 年)
 - ・ 第 2 回「日本ベンチャー大賞」社会課題解決賞（審査委員会特別賞）（2016 年）
 - ・ 第 8 回「千代田ビジネス大賞」大賞(2016 年)